

2017年2月3日(金)

[概要]

平成28年度 SGH 第2年次報告会を実施しました

<主催>神戸大学附属学校部 附属中等教育学校 <後援>兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会

<スケジュール>

受付	公開授業 実践発表	質疑	休憩 移動	全体会 事業報告	生徒発表(体験・研究) シンポジウム	文部科学省講評	諸連絡 終了
12:00-12:30	13:20	13:50	14:10	14:50		16:20	16:50 16:55

◆ 文部科学省講評 濱野 清(文部科学省国立教育政策研究所 教科調査官) ◆ 生徒発表(下欄参照) ※交流事業体験、課題研究発表

◆ パネルディスカッション

テーマ 「地球の諸課題と国際貢献」

パネリスト 田和 正裕(JICA 関西次長・SGH 運営指導委員)

石川慎一郎(神戸大学 大学教育推進機構 国際コミュニケーションセンター・同大学院国際文化科学研究科教授)

瀧本 家康(神戸大学附属中等教育学校教諭・グローバル教育推進室副室長)

本校代表生徒3名

司会 勝山元照(神戸大学附属中等教育学校 副校長)

SGH 課題研究テーマ

「神戸から発信する地球の安全保障への提言」(全体)と個別研究領域

- | |
|-----------------------|
| A 震災・復興とリスクマネジメント |
| B 国際都市「神戸」と世界の文化理解 |
| C 提言：国際紛争・対立から平和・協力へ |
| D グローバルサイエンスと拠点都市「神戸」 |

公開授業&実践発表(分科会場)

科目名等	学年	テーマ	内容紹介	発表形態
特設科目「ESD」	3年	水・気候変動	水と気候変動をめぐる課題を関連付けて、その課題にいかに取り組んでいくか、生徒が主体的に議論する授業を行います。	公開授業
特設科目「国際理解」	4年	地球温暖化	地球温暖化に対して、複数の国の立場から協力関係を築けるよう生徒が議論・交渉を行います。	公開授業
グローバルアクションプログラム	4・5年	ローカルからグローバルへ	国内における課題研究プログラム(仙台交流、ジオパーク、世界津波の日高校生サミット、全日本高校模擬国連)への参加を通して何を深く考えたのか、生徒が発表します。	実践発表
グローバルアクションプログラム	4・5年	グローバルからローカルへ	海外における課題研究プログラム(シアトル、ハノイ、高雄、カンボジア)への参加を通して何を深く考えたのか、生徒が発表します。	実践発表
課題研究(Kobeプロジェクト)	5年	グローバルサイエンス等	本校がKobeプロジェクト(総合的な学習の時間)で実施しているSGH課題研究の取組について、課題別ゼミ形式によるプレ発表のようすを紹介します。	公開授業

生徒発表(全体会場)

タイトル	発表者	内容紹介
震災・復興・減災仙台交流プログラム (DR3)	DR3 仙台交流メンバー	「震災・復興・減災」をテーマに仙台周辺の高校生や大学生との交流, 被災地視察, 課題研究を通して大規模震災に対するリスクマネジメントについて多角的に学ぶプログラムについて紹介します。
グローバルサイエンス	ケンブリッジ研修メンバー	「グローバルサイエンス」をテーマに実施したケンブリッジ・コンバートンビレッジ・カレッジ校における学校交流及び研修活動について報告します。
アートマイル(国際交流壁画共同制作プロジェクト)	アートマイル交流メンバー	「平和」をテーマにインターネットを用いてインドネシアの学校と協働学習を行い巨大壁画に学習の成果を表現する国際交流活動について紹介します。
課題研究	6年生	「地球の安全保障」をテーマに取り組んでいるSGH課題研究(卒業研究)の優秀者による発表を行います。

